

不登校の子をもつ親の会



(代表) 加嶋文哉
佐伯市東町12-15
0972-24-1669
090-1922-2495

ichibanboshi@cts-net.ne.jp

http://reng.ath.cx/~oitamet/

(年会費 2,000円)

会費のお願い

会費の納入率は70パーセントをこえました。会費を納めたかどうか忘れた方は連絡を…。会費を納めていない方、納入をお願いします。会費は、「星の会」を続ける意思の確認でもありますから…

●会費は今年(2006年)だけで結構です。さかのぼっての徴収はいたしません。●会費は、封書で郵送してください。●「星の会」をやめたい方は、加嶋まで電話かメールかハガキ・封書等でご連絡ください。

いじめと自殺

テレビや新聞で、子どもの自殺が次々と起きています。原因は、いじめのようです。そのニュースを見るたびに、心が痛みます。同時に子ども不在の対応が気になります。

学校や教育委員会の対応が問題にされています。確かに、いじめの事実を認めようとしない学校や教育委員会の姿勢は問題です。責任逃れだけをし、問題を解決しようとする気持ちが見えません。しかし、学校・教師へのバッシングを強めるだけでは、子どもたちのいじめが少なくなると思えません。教師をたたきただけでは、いじめはなくなりません。それどころか、ますますいじめは見えにくく陰湿なものとなるでしょう。

いじめらしきものが発覚したら、教師たちは、親への説明責任が果たせるように気をつけ、親たちは教師がちゃんと指導しているかどうかを見る。親と教師がバラバラとなった学校で、子どもたちの幸せはどこにいくのでしょうか？

子どものいじめは、学校・家庭・社会が息苦しくなっていることを背景としています。「…したい」ということよりも「…しないでほしい」ということだらけとなった学校生活へのストレスもその一つです。意味のない学力競争で、子どもたちや学校を「勝ち組」「負け組」に振り分けていることもその一つです。「はやく良い子になりなさい」と子どもの言い分を聞かない大人の対応も、子どものイライラを募らせています。

子どもたちが学校・教師・親に求めているものは、競争や管理ではありません。いじめを見張る冷たい目でもありません。それは、楽しい学校とよくわかる授業です。いっしょに遊び、考えてくれる仲間と教師です。寄り添い・向き合ってくれる親です。

例会で語り合しましょう。子どものこと、いじめのこと、教師・親のこと、学校のこと…。

二度と悲劇を繰り返さないために…。

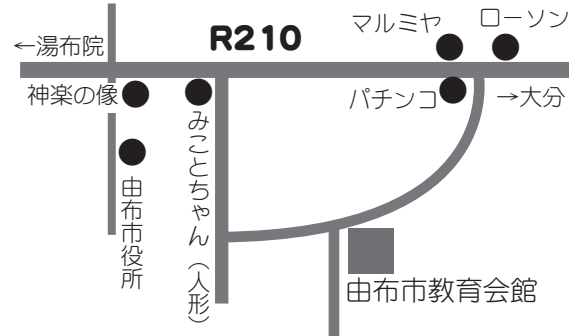
■参加費：400円
■問合せ先：立川久美(090 8662 3966)
■話す人：加嶋文哉(「星の会」代表)

■11月18日(土) 10時~12時
■由布市教育会館(庄内町大龍)

小さな講演会

不登校の「星」をいっしょに考える

由布「ほろもみの会」十周年記念



第26回 大分例会

○11月24日(金) 19:00~21:45
○大分コンパルホール 308号室
○参加費 300円
(年会費とは別に会場費として徴収します)

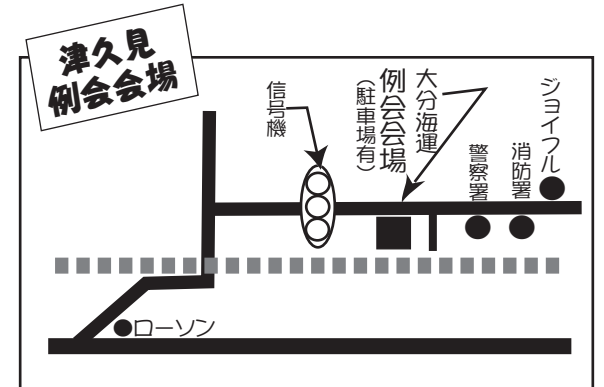
第126回 最後の佐伯例会

○12月2日(土) 14:00~17:00
○弥生文化会館 小会議室
(一階・自販機横の通路の奥の部屋)

佐伯「星の会」の最後の例会を、通常の第一金曜日ではなくて、土曜日のお昼に変更します。理由は、12月1日(金)は、同じ会場で教育基本法改悪反対の大きな集会が開かれ、駐車場がいっぱいで止められそうにないからです。間違いのないように気をつけてください。

第119回 津久見例会

○12月8日(金) 19:30~22:00
○大分海運の事務所(2階)
詳しくは、戸高さん(090-9792-7317まで)



第27回 大分例会の予告

○12月23日(土) 19:00~21:45
(詳しくは次号で)